

2026 年 1 月 15 日

東京銀杏会
会員各位 様

東京銀杏会
会長 嶋津 昭

東京大学 150 周年記念事業についてのお願い

2027 年 4 月に創立 150 周年を迎える母校東京大学では、記念事業の実施および記念基金への協力が呼びかけられています。

東京銀杏会では、母校へのこれまでの感謝と、次の 150 年への期待を大切にしつつ、会員の皆様それぞれのお考えに応じた形でご参加頂ける方法をご紹介したいと考えました。本ご案内はあくまで「お願い」であり、ご寄付は任意です。ご賛同頂ける場合には、無理のない範囲でご検討頂けましたら幸いです。

今回ご案内する二つの方法について

検討の結果、寄付の受け皿ができるだけ分かりやすくするため、東京銀杏会では二つの方法に絞ってご案内することと致しました。（後ろに比較表掲載）

1. 個人（または所属企業）として東京大学へ直接寄付する方法

東京大学基金を通じて行う、最も基本的な寄付の形です。税制上の優遇措置があり、期間の制限は本来ありませんが、150 周年記念事業の期間中（2022 年 10 月～2027 年 3 月末）は、寄付額に応じて創立 150 周年記念事業における表彰や安田講堂内への記念銘板掲示の対象となります。匿名も可能です。

2. 東京銀杏会が「団体の資産からの寄付」*を東京大学に行う。

もう一つの方法は、東京銀杏会が会員の皆様からお預かりしたご寄付を取りまとめ、会として一括して東京大学へ寄付するものです。期間は 2027 年 2 月末までとします。この方法では、寄付した個人に対する税制優遇はありませんが、累積寄付額が一定額（100 万円以上）に達した場合、東京銀杏会の名で記念銘板が掲示されます。特にこの方法では、寄付に込められた会員の皆様の感謝と期待の気持ちを形として残し、東京銀杏会と母校とのつながりを将来に引き継いでいく象徴的なものと考えています。

*「団体の資産からの寄付」とは東大基金における正式な用語であり、東京銀杏会の既存資金や予算に手をつけるものではありません。

寄付種類の比較表

<u>区分</u>	<u>1. 個人寄付</u>	<u>2. 団体の資産からの寄付</u>
寄付先	東京大学	東京銀杏会⇒東京大学
税制優遇	あり	なし
銘板	個人名	東京銀杏会名
方法	直接振込・web	銀杏会口座へ

ご寄付の具体的な方法は次ページに添付されております。

ご不明な点等ございましたら、下記事務局までご連絡下さい。

東京銀杏会事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学第二食堂ビル 1 階
TEL : 03-5804-3875 FAX : 03-5804-3876
メール : tokyoichokai@gmail.com

ご寄付の具体的な方法

1. 個人のご寄付の方法

払込票を使う方法とネット振込との二つの方法があります。

(1) 払込票を使う方法 :

東京大学の各銀行口座へ、ゆうちょ銀行の払込取扱票を使用してお振込いただきます。ご希望のかたは事務局に連絡いただければ、東京大学のゆうちょ銀行払込票を郵送致します。ゆうちょ銀行以外の銀行からお振込みの場合には、下記掲載の同一銀行口座へお振込みいただければ、手数料は発生しません。

【口座名義】国立大学法人東京大学

【口座番号】三井住友銀行 東京公務部(096) 普通預金 0165539

みずほ銀行 本郷支店(075) 普通預金 2592055

三菱 UFJ 銀行 本店(001) 普通預金 0634582

りそな銀行 本郷支店(453) 普通預金 1714277

ゆうちょ銀行 00140-8-741661

(2) ネット振込による方法 :

東京大学基金ウェブサイト (<https://utf.u-tokyo.ac.jp>) にアクセスし、冒頭画面の「詳細を見る」⇒「UTokyoNEXT150」⇒「UTokyoNEXT150（一任する）」⇒上欄の「寄付のしかた」⇒「WEB申込の決済種類」を選択し、振込のしかた（クレジットカード、インターネットバンキング、ATM決済、コンビニ決済、銀行振り込み）により、画面のそれぞれの指示に従って寄付情報入力をしてネット上で寄付いただきます。

2. 「団体の資産からの寄付」の方法

東京銀杏会のゆうちょ銀行口座（下記）へ、既にお送りしているゆうちょ銀行払込取扱票を使用してお振込みください（手数料なし）。市中銀行からゆうちょ口座へのお振込をご希望の場合は、恐縮ですが振込手数料は個人負担にてお願い致します。

【口座名義】東京銀杏会 代表者 杉本文雄

【口座番号】ゆうちょ銀行 ○一九店（ゼロイチキュウ店） 普通預金 0724282

「団体の資産からの寄付」の期間

「団体の資産からの寄付」の受付期間は、2027年2月末までと致します。同年3月には東京銀杏会から「団体の資産からの寄付」を東京大学に行います。後日会員の皆様には、寄付金の総額とご支援頂いた会員のご芳名をご報告いたします。個人毎の寄付金額は公表いたしません。以上